

議員の議会での質疑等

都議会議員 とや英津子氏
平成 30 年第一回定例会
文書質問 (要旨)
3 月 29 日

- ①白子川上流部には湧水が湧き貴重種が生息しており、自然への負荷が心配。調節池整備の事業化の時期、条件は？
- ②地域からは、「巨大調節池建設回避か規模縮小を」「西東京市でも負担の分散化をはかるべき」との声があるが、見解は？
- ③都から区への意見照会に対して区は、「河川整備にあたっては、地域住民の意見を踏まえ、生態系、水循環、湧水等の自然環境、および親水機能の保全・創出に十分配慮し、地域の個性を活かした計画を」と回答しているが、区の意見をどのように活かすのか？
- ④調節池整備では、地域住民との合意形成をどのようにはかるのか？

①これまでの計画では 28,600 m³の調節池整備だったが、変更原案では火の橋～七福橋付近（源流を含む大泉井頭公園の区域）に 254,000 m³もの調節池となっている。巨大な調節池が源流一帯の緑や水辺環境の有形無形の価値を大きく損なうのではないか。区の基本的な認識は？
②雨水処理については西東京市域も含めて分散し、源流部への負荷をできるだけ抑える努力が必要。都並びに西東京市との協議を求める。

区議会議員 池尻成二氏
平成 30 年第一回定例会
質問 (要旨)
2 月 7 日

①区は、白子川源流部の生態系、水環境、湧水等の自然環境や親水機能の保全・創出への配慮を行うよう都に申し入れている。
②流域内の雨水は河川の流域で一体的に処理するものであり、それぞれの自治体内で処理するという概念はない。都と適切な治水対策が施されるよう協議を進める。

土木部長
回答 (要旨)

区議会議員 きみがき圭子氏
平成 30 年予算特別委員会
質問 (要旨)
3 月 5 日

- ①変更原案への意見募集では、地域から「75 ミリ対応に疑問」「湧水が涸れるのでは？」「希少生物が失われるのでは？」等が多いが、区は把握しているか？どのように受けとめているか？
- ②大泉井頭公園を優先整備区域として 2020 年までに着手する計画があるが、河川整備計画と公園整備計画を一体的に進めていくのか？

土木部計画課長
回答 (要旨)

- ①地域住民や関係機関との協働や自然環境への配慮は計画の基本理念として示されている。また、既に都に対して、白子川源流部の自然環境への配慮を行うよう申し入れている。
- ②白子川整備計画も大泉井頭公園も具体的な整備時期は未定。調節池についても、具体的な位置や構造については示されていない。

▼調節池整備の今後のスケジュールについては、大泉井頭公園の整備の進捗状況と関係してくる。

▼調節池整備は、他の地域の事業と比較して、優先度として喫緊に整備しなければという状況ではないと、都の担当部署より聞いている。

▼計画決定後も地域住民、練馬区ともしっかり連携しながら事業を進めるよう都に求めていきたい。

都議会議員 小林健二氏
当会への手紙 (要旨)
2 月 28 日着